

市議会を傍聴



黒羽小学校の児童21名が本市議会を訪れ、傍聴されました。初めての傍聴ということでしたが、児童たちは議論の様子をメモをとりながら真剣な表情で聞いており、本会議もより緊張感をもって臨むことができました。



(児童の傍聴の様子)

傍聴した黒羽小児童の感想 (一部抜粋)

質問に対して詳しく答えていて、わかりやすかった。

議員のお話を聞いて、大田原はこのように成り立っているんだなと思いました。

これからの問題をどうするのか話をしていた。

いろいろな内容で発言していたのですごいと思いました。

議会を間近で見たのは初めてなので、勉強になりました。

議員の方たちは「こうしているんだ」ということがわかりました。

国会議事堂へ行って国会を見学したことはありましたが、また違う体験ができました。

ここで大田原市のことが決まるのだと思うと少し緊張しました。

どのように議会をやっているのか、どのような人がいるのか知ることができました。

テレビで見るのとは違って迫力がすごかった。

こんな近くで聞けてよかったです。

市のことや身近に困っていることを話し合っ、今の給食費無料化も実現したんだと思う。

12月に市議会を傍聴させていただきました。修学旅行で国会議事堂を見学しましたが、市議会の見学は本校でも初めてのことでした。議事場に入る前から、児童たちはやや緊張していたようでした。今から始まる本会議に向けての緊張感が伝わってきたのだと思います。この日は一般質問の2日目でした。議員の方の質問内容が、学校給食に関する事、高校進学に関する事だったので児童たちも理解できたようです。また、市議会で小学生である自分たちのことが議論されていることに驚いていました。中には「給食費の無料化もこのように話し合われて決まったんですね。」と話す児童もいました。また、市長さんや執行部の方が質問事項のすぐ後に、すらすらと答弁されていたことに対して「市長さんてすごいなあ。大田原



〈黒羽小教諭〉

渡邊 和代さん



市のことを何でも答えられるんだな。」と感心していました。市長さんには、いつも大会などで御挨拶を頂いていますが、あのように市政についてお話しされるのを聞くのは初めてのことでした。子どもたちは、議会に出席している方々が、大田原市の現在や将来のことなどを真剣に考えてくださっている熱意を感じ取ることができ、とてもいい経験になりました。大田原市は児童表彰や給食費の無料化、ICT活用など子どもの教育に力を入れている市です。このような恵まれた大田原市で将来ある子どもたちと一緒に学べることをうれしく思いました。最後にになりましたが、今回このような機会を与えていただいた市議会関係の皆様へ感謝するとともに、今後の皆様の御活躍を心から期待しております。